

50周年記念山行 交差縦走 爺ヶ岳～五竜岳（北上ルート）

日時：8月20日（土）～22日（月）

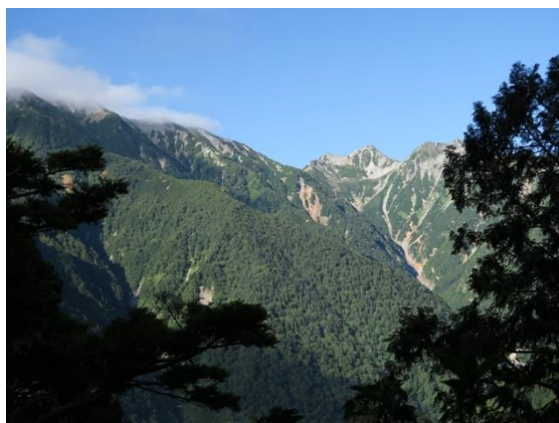
参加者：CL 細谷、SL 広木愛、加藤(記録)

報告：

【1日目】

8/20 柏原新道 6:00→種池山荘 10:00→爺ヶ岳→冷池山荘 13:30

道の駅と温泉宿が併設された「ぼかぼかランド美麻」にて仮泊、朝4時 Tさんパーティーと別れて扇沢に向かう。川を渡った右側の駐車場は工事中で立入禁止。そこで左側の市営第2駐車場に駐車した。準備をしているとき前代未聞の大ハプニング発生！何と私が左右違う靴を持ってきたのであった。右は6月に買った新品、左は捨てるばかりの古い靴、取り敢えず、出発。柏原新道は歩き易く多くの登山者がいた。背後には雪が全くない針ノ木谷、西の鳴沢岳方面の稜線から雲が迫ってきた。種池山荘でテーピング用の太いテープを買い靴に巻きつけさらに細紐を回して応急修理を施す。種池山荘を出た台地状の所で一瞬、剣岳が見えたが、爺ヶ岳の登りでガスに包まれた。まもなく雨も降り出し、冷池山荘までひたすら歩き、13:30チェックイン。談話室、テラスもあり晴天なら快適そうであるが、テント場には登り10分、水、トイレは小屋まで往復しなければいけないので不便である。



柏原新道からの望む針ヶ岳



ガスの中の爺ヶ岳山頂

【2日目】

8/21 冷池山荘 4:10→鹿島槍ヶ岳→八峰キレット→五竜岳 14:30→五竜山荘 16:00

月が輝く中、出発する。鹿島槍の中腹にヘッドランプの明かりがチラチラ見える。布引岳で御来光を見て、鹿島槍南峰にて大休止。ここまでは歩き易い道であったが、吊尾根を下る際落石しそうな箇所あり、北峰は往復、ここから岩場の連続となる。台風接近のせい、ほとんどの登山者は鹿島槍往復で、五竜方面に縦走する人はあまりいなかった。曇ってきたが谷の方向は良く見える。八峰キレットは良く整備されていたがキレット小屋が見えるトラバ

ースは高度感があり、慎重に小屋前に降り立った。キレット小屋前にて大休止後、30分歩いた後、Tさんパーティーの4人と再会し、互いの健闘を称えあい記念撮影。

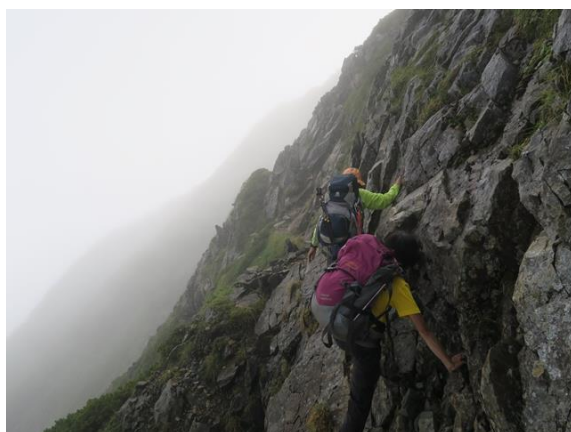
五竜岳の登りはガスの中、岩場の登りに飽きたころ休憩中にガスが切れ、五竜岳の全容が姿を現す。五竜岳山頂で再び雲が切れることを待ちわびながらのんびり寛いでいると他の登山者から今日は1つの布団に2,3人だよという偽情報を得る。CLのHさんは急いで小屋に向かった。これは杞憂でテント場はガラガラ、山荘内では1つのスペースに我々3人だけであったが、夕食は3回目で18:20、ほぼ定員の客がいたようだ。



鹿島槍ヶ岳の夜明け



鹿島槍ヶ岳山頂



八峰キレットに向かう



田中Gと合流

【3日目】

8/22 五竜山荘 6:20→遠見尾根→白馬五竜スキー場 10:50

未明に降っていた雨が止み、朝食時日が差してきた。急遽 CLのHさんは五竜岳山頂を往復すると言って出かけて行った。私とHさんは最後まで食堂で寛いでいた。青空のもとゆっくり下り始めると雲の流れは速いが、鹿島槍から五竜、唐松岳まで見渡せた。テレキャビン乗り場で係員から冷たいおしぼりを頂きさっぱりしてスキー場前に到着した。「十郎の湯」

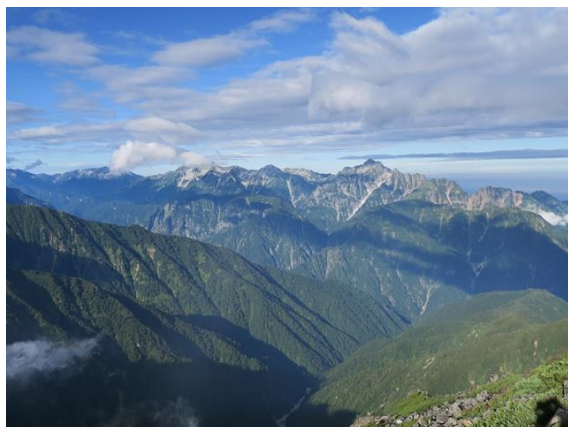
で汗を流し、待合わせ場所の「ぼかぼかランド美麻」に向かうとちょうど T さんパーティーも到着したばかりであった。台風接近で千葉は大変なことになっていたが、昨日、本日ともに雨具を着用しなかったのは奇跡的であった。



五龍岳再登頂



五龍から望む鹿島槍



五龍岳から立山連峰・劔岳



遠見尾根から唐松岳・五龍岳

以上